

事務事業事後評価シート[平成27年度事業]

1. 基本情報

■事業の担当課	企画部総務課		■担当係	統計係
■評価事業名称	北上市統計調査員協議会運営費補助金			
■事業開始年度				
■評価事業コード	010200 - 406	■会計区分	一般会計	
■総合計画での位置づけ	■政策	07 その他の事務		
	■基本施策	01 その他の事務(市民サービス)		
	■施策	01 企画部門(市民サービス)		
■事業の類型	06 負担金・補助金(任意・ソフト事業)		■政策・業務区分	政策
■法令の根拠区分	法令に特に定めのないもの			
■法令等の名称				
■関連計画の名称				
■事業の目的と概要	北上市統計調査員協議会に対して運営費を補助することにより、会員の資質の向上を図り、もって統計調査の円滑な実施を図る。			

2. 細事業の活動実績情報

細事業コード	細事業名称	事業の対象	平成27年度事業計画	平成27年度事業量実績
01	北上市統計調査員協議会運営費補助金	統計調査員	補助金額100,000円 、協議会会員数266名(7支部)、 総会の開催1回(参加121名)、 役員と支部との研修会開催2回(飯豊支部と東支部)	補助金額100,000円 、協議会会員数269名(7支部)、 総会の開催(参加123人)、国勢調査研修会(参加211人)

3. 投入コスト情報

(単位:千円)

	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
直接事業費	104	101	101	100	
人件費	1,298	157	79	74	
その他(公債費・減価償却費等)					
フルコスト	1,402	258	180	174	

4. 評価指標等の状況

指標コード	指標名	24年度	25年度	26年度	27年度	指標の説明
01	役員と支部との合同研修	2	1	2	1	国勢調査実施年のため、合同研修会に代わり国勢調査研修会を開催した
02	役員会	4	4	4	4	予定通り4回開催した

事務事業事後評価シート[平成27年度事業]

03	調査員数	267	266	265	269	ほぼ横ばいである
----	------	-----	-----	-----	-----	----------

5. 事後評価(「政策」事業類型5・6のみ)

■目標達成状況 ☐ A. 順調 ☒ B. 概ね順調 ☐ C. 遅れている	達成状況の分析 協議会の会議、事業は順調に実施した。	問題点・課題等 高齢化、後継者不足が深刻である。5年に1度の農林業センサス、国勢調査の際に調査員が不足する。
1. 直接的な受益者の範囲 ☐ 不特定多数に及ぶ ☐ 特定されるが多数に及ぶ ☒ 特定少数に限定される	2. 事業廃止の影響 ☒ 大きな不利益やリスクが生じる ☐ ある程度の不利益やリスクが生じる ☐ 不利益やリスクは小さい	3. 国・県・民間との競合関係の有無 ☒ 類似の事業はない ☐ 類似の事業はあるが競合はない ☐ 類似の事業があり競合する
4. 事業へのニーズの変化 ☐ ニーズが高まっている ☒ ニーズは変わらない ☐ ニーズが低下している又は合致しない	5. 施策の改善需要度(市民意識調査) ☐ 順位が高い ☐ 順位が中程度 ☐ 順位が低い	6. 施策の優先度(市民意識調査) ☐ 順位が高い ☐ 順位が中程度 ☐ 順位が低い
7. 他市町村に比較しての優位性 ☐ 先進的またはユニークな事業である ☒ 他と同程度の事業である ☐ 遅れている事業である	8. 実施主体の代替性 ☒ 民間委託等の拡充は難しい ☐ 民間委託等の拡充が十分に可能 ☐ 全部委託や実施主体の移行が可能	9. 経済性・効率性の向上 ☒ 今以上の効率化や改善は難しい ☐ 効率化や改善を図ることは十分に可能 ☐ 効率化や改善の余地が大きい
■事業の見直し方策 基幹統計調査や交通量調査の実施において協議会会員の協力は不可欠であり、引き続き市と連携して会員の確保に努めていく。		■今後の方向性 ☐ I. 拡充 ☒ II. 継続 ☐ III. 縮小 ☐ IV. 廃止・休止 ☐ V. 完了